「押印を求める手続の見直しのための内閣府関係府令の一部を改正する府令案（仮称）」
に関する意見募集の結果について

令和 2 年 12 月 28 日
内閣府地方創生推進事務局

1. 概要

「押印を求める手続の見直しのための内閣府関係府令の一部を改正する府令案（仮称）」の内容について、以下の要領で、国民の皆様から御意見を募集しました。

○募集期間：令和 2 年 11 月 15 日（日）から同年 12 月 20 日（日）まで

○提出方法：Web フォーム、郵送又は FAX

2. お寄せいただいた御意見

今回募集した府令案について、合計 2 件の御意見をいただきました。いただいた御意見と当該御意見に対する考え方については、以下のとおりです。

	御意見の内容	御意見に対する考え方
1	<p>紙に押印という唯一性のある原本を管理することで発出者や確認者の確認をしてきたことを、デジタルに置き換える場合は、なんらかの完全性を担保する手段がないと、将来にリスクを持った記録となります。</p> <p>行政における記録の管理において、不明な相手からの情報受信や、改ざんの有無を検知できない仕組みは、将来において透明性への説明責任を果たせないばかりでなく相手による否認のリスクが生じます。</p> <p>これまで、紙に押印することで残されてきた記録は、より利便性の高いデジタルによる記録に置き換わることは自明であります。記録本来の「将来における活用に備え、その真実性と真正性を担保し情報の信頼を確保する」ことを念頭に省令の見直しを進めていただくことを強く希望します。</p>	<p>御意見として承ります。押印を求める手続の見直しに伴い情報に対する信頼が損なわれることがないように、運用時に留意してまいります。</p>
2	<p>書面での押印（又は署名）の廃止には反対である。</p> <p>押印（印章）又は署名は刑法等での特段の扱いを生じるものであるが（国はその考慮と説明が不十分である。）、これは正当性・公正性の確保に資するので（法的・物理的な偽造等への障壁が生じるため）、押印又は署名は必要と考える。（市民等の</p>	<p>御意見として承ります。押印を求める手続の見直しに伴い文書の作成名義の真正が損なわれることがないように、運用時に留意してまいります。</p>

	申請・届出等だけでなく公務員等が携行・提示する身分証他書類等も同) 国は、正当性・公正性の面で劣化を生じさせないようにされた い。	
--	---	--

3. 府令については別紙参照

4. 問合せ先

内閣府地方創生推進事務局

TEL : 03-5510-2158